

静岡

台湾の生涯学習機関
女性2人三島で研修
河川環境保全を学ぶ
台湾の生涯学習機関「台湾
社区大学」の女性職員二
人が二十六日まで、三島市
で地元のNPO法人「グラ
ウンドワーク(GW)三
島」の研修に参加し、地域
住民主体による河川環境保

全のノウハウを学んでい
る。

二人は研究員の張琬珮さん(三島)と職員の前佳琦さん(四ノ宮)。GW三島専務理事の渡辺豊博さん(六ヶが社区大



環境美化活動に当たる曾佳琦さん(左)と張琬珮さん(右)＝三島市南本町の三島梅花藻の里で

学のアドバイザーを務めている縁で、二人を研修で受け入れた。

二人は四月二十六日から三島に滞在。三島市内の源兵衛川や三島梅花藻の里な

どを訪れ、環境美化活動に当たっている。

張さんは「GW三島の行動しながら学ぶ姿勢が印象的です。長期的なビジョンを持って活動する大切さも感じた。台湾にノウハウを持ち帰って実践したい」と目を輝かせる。曾さんは「三島では市民が地域コミュニティのために積極的に活動している。三島を参考に、台湾の人々の意

識を変えたい」と意気込む。

渡辺さんは「ノウハウを伝えることで、国際的な交流を発展させたい」と話す。

(佐久間博康)